

令和5年度「若者が主役の環境保全活動応援事業」



あなた ひらめき これから
～ 若者の発想で環境を繋げ～

● どんな事業？

この事業は、気候変動等の環境問題やSDGsへの取組などに関心はあるけれど、具体的に何ができるのかわからない、活動場所がないといった若者を支援する事業です。

そこで、若者の創意工夫による環境保全活動のアイデアコンテストを開催し、次代の環境保全活動をリードする若手人材の育成を図ることとしました。コンテストでは、優秀なアイデアを選出し、賞金最大50万円を交付したほか、実際の活動を支援するため、研鑽機会の提供や企業等への紹介、助成制度活用支援などを行っています。

● 何をやったの？

5～7月

課題の収集

団体・企業などが環境活動を通して解決したい課題などを、団体・企業の情報とあわせて個票にまとめ、千葉県HPにて紹介（R5年度は66団体）。若者が考える企画のヒントとしました。

8～9月

スタディツアーの開催

体験したい、話を聞きたいといった若者のニーズに応え、スタディツアーを開催することで、団体・企業の皆様と若者のマッチングを行いました。その結果、団体・企業の皆様と若者の交流が生まれ、若者の視点から新たな課題や解決策が見つかるきっかけとなりました。

スタディツアー受入団体からの感想(抜粋)



TOAシブル株式会社
学生が当社を見学に来るということ自体がめったにないことであり、社員の帰属意識向上に寄与する一日だったと感じます。若者たちの視点や考え方は我々にとっては斬新であり大変貴重でした。



おとずれ山の会
既成概念にとらわれず自らの行動と実践により「里山」に取り組もうとする真剣な「思い」をしっかりと受け止めなければならぬと強く感じました。



手賀沼アグリビジネスパーク事業推進協議会
皆さんには、壮大な夢やビジョンと同時に、自分たちの手でできるトライ、まずやってみることができるアクションを考えていただき、実際のフィールドでチャレンジしてもらいたいと思います。



しろい環境塾
里山保全活動は体力が必要ですので、若い力に期待したいと思います。土曜日等のグループでのボランティア活動に参加いただけたらと思います。楽しくなければ続かないと思います。

10月

アイデアコンテストの開催

10月15日（日）に幕張メッセ国際会議場にてコンテスト開催。9団体のエントリーから5団体が一次審査を通過し、3団体が受賞しました。

令和5年度受賞団体



第1位

成田日本菫復活チーム

蘇れ！耕作放棄地
～日本菫に託す私たちの想い～
チャンピオンは高校生！
授業で知った伝統文化「日本菫」で地域の環境課題である耕作放棄地や獣害を解決できるのではないかと。その大きなテーマに対し、高校生の視点で「まずはやってみる」という行動力や、ファッション等への展開の可能性が評価されました。

第2位

学生団体グリーンベース

里山活用コミュニティ
「グリーンベース」
里山の荒廃という日本全国で起きている深刻な課題に対して、学生による遊び場へのリメイク、持続的・自主的な里山コミュニティづくりという新しい視点が評価されました。大学生でもここまでできるというモデルとして、全国の里山の取組をしている人々を勇気づけてほしい！

第3位

千葉大NESO

地域の特色を生かした自然体験型学習プログラムの画策
すでにビジネスを想定した企画。みずからの原体験からその重要性を認識し、幼少期の生物への関心を行動に移すためのプログラム運営をビジネスに。学生による「子どもたちの学びの場のデザイン」が評価されました。ビジネスを軌道に乗せていく資金として賞金を活用します。

令和5年度「若者が主役の環境保全活動応援事業」

あなた ひらめき これから
～ 若者の発想で環境を繋げ～

2～3月

活動の開始・中間報告

ぜひ
ご覧ください！



スタート会議を経て、若者たちは活動を開始。
報告会にて活動の様子を報告してもらいました⇒

<https://youtu.be/V1Nq8x1xAPE>

成田日本茜復活チーム

学生団体グリーンベース

千葉大NESO



日本茜を世界へ発信し、日本の農業を発展させるため、下記の計画を立てています。

1. 日本茜について詳しく学び、多様な色に染められるようにする。
2. 成田市内の耕作放棄地で日本茜の栽培を開始。
3. 茜をモチーフにしたキャラクターを作り、オリジナル小物を作る。



1月、2月は主要メンバーで里山保全活動を体験しながら、3月のイベントを企画・準備。

3月には『里山活用体験イベント～Episodel「開拓の狼煙」～』として40人が集まり、作っていききたい里山について構想するワークショップや、市原市上総牛久駅周辺の商店街にてロゲイニングを実施しました。



プログラムの準備として、大学・行政と打合せや、高校の生物教師の有志団体のセミナーに参加。

また、JTBが主催する「B.B.BASEで行く！早春の南房総モニターツアー」に乗車し、プログラムの宣伝活動を行いました。プログラムの実施に向けて、着実に進めています。

令和6年度も開催します！

令和6年度もアイデアコンテストを開催することが決定しました。

さまざまな環境分野において課題に取り組んでおられる団体・企業の皆様とともに、令和5年度に引き続き若者の環境活動のきっかけをつくり、支援していきたいと考えています。

- 令和6年度 若者が主役の環境保全活動アイデアコンテスト
募集開始：令和6年6月下旬
開催日時：令和6年10月20日（日）
開催場所：幕張メッセ国際会議場

賞金最大
50万円！

なお、令和5年度のコンテスト受賞団体に対しても、活動が継続できるように、伴走支援を行っていきます。

団体・企業の皆様には協力団体として、環境保全活動の体験の機会提供や、若者への応援となるノウハウや資材等の提供にご協力をお願いいたします。



企業



団体

問合せ先

本事業の内容に関するご質問は下記までお知らせください。

- ◆ 千葉県環境生活部循環型社会推進課
環境保全活動推進班 担当：土屋
電話番号：043-223-4144
ファックス番号：043-221-3970

アイデアコンテストや本事業にかかる各種イベントに関するご質問、お申し込み、お申し出等は下記までお知らせください。

- ◆ 令和5年度、令和6年度「若者が主役の環境保全活動応援事業」
受託者 NPO法人環境パートナーシップちば 担当：桑波田・松本
電話番号：090-8116-4633
電子メールアドレス：youth@kanpachiba.com

